

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成17年1月26日(水) 15時00分～17時00分		
開 催 場 所	川西市役所 5階 502会議室		
出 席 者	委 員	規矩議長・正親委員・敷地委員、小柳委員、後藤委員 武村委員、佐道委員、白石委員 計 8名 森副議長、竹中委員欠席	
	そ の 他		
	事 務 局	小山部長・雪岡中央公民館長・浜田生涯学習センター所長 横田主幹・山川課長 計5名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 開会 2. 議題 1) 年間テーマ「よりよい地域教育システム作り」(第5回)について 3. 閉会		
会議結果	別紙のとおり		

1. 開会あいさつ

(小山部長) 成人式で、ゴミが多くあることを指摘される。

3. 協 議

1) 年間テーマ「よりよい地域教育システム作り」(第5回)について
(規矩議長) 若者の居場所づくりについて、学校、家庭が必要としているか話し合ってきた。行政として居場所をほんとうにつくらないといけないと思っているのか。

(白石委員) 学校では懇談会の親の服装が、価値観の多様化から、兄弟みたいな服装でくる人がいる。その裏がえしが、今の子どもである。大人が変われば、子どもも変わる。

(佐道委員) 知らない、わからないのではないか。こういうところで、こういうことをしてはいけないということが。ゴミを集めている人がいると、あれはあの人のお仕事と思って自分がゴミを出していないから良いと思っている。自分の世代のものが出したゴミなのに拾おうとしない。わかっていない。あいさつなどしなければいけないと教えないといけない。

(白石委員) 大衆主義、群衆主義である。

(規矩議長) 学校が地域のネットワークにくみこまれて、問題を解決してけるとよい。

(小山部長) まだ生涯学習センターで情報のキーになる状態ではない。リタイアしている優れた人が多くおられる。こういった人々が、どうしたら出てきてもらえるのか、きっかけを作る必要がある。

(規矩議長) そのような人を引き込めるように、ちょっと行政がからめたら。

(小柳委員) 防犯とか、自主防災とか。

(武村委員) 清和台地区では学校と地域との協力体制が出来ている。

(小柳委員) 地域では指令塔が必要。市民レベルでの情報が必要。

(規矩議長) どんなやり方があるのか、行政がおんどとりする必要がある。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

(後藤委員) マニュアル化されたものがあれば良い。井戸端会議ができるところでは犯罪が少ないと言われるが、場所がない。

(正親委員) 学校の保健室のようなものがよい。

(小柳委員) 結論を出さない会議がよい。

(規矩議長) 自然がよい。清掃をしないと近所が迷惑する。この場合、どうするか。集まって話し合いをしたいが、だれが集めて、どこでしたらよいのかむずかしい。子どものための居場所づくりについては、文科省が言い出して、県レベルまできているが、具体化していない。

(正親委員) 今の働いている夫婦は、夫婦中心である。少なくとも、土、日曜日は子ども中心になってほしい。

(後藤委員) 子どもを育てることが大切。男女平等だけれども、それぞれの人間の前に動物である。

(規矩議長) それをどう教えるかが大切である。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。